

「愛知県高潮対策検討委員会 第1回技術部会」の開催概要について

1. 概要

平成29年8月21日午前10時からウインクあいちにて「愛知県高潮対策検討委員会 第1回技術部会」を開催しました。

『技術部会 出席委員』

氏名	所属	備考
喜岡 渉	名古屋工業大学 名誉教授	
水谷 法美	名古屋大学 教授	座長
加藤 茂	豊橋技術科学大学 教授	
北野 利一	名古屋工業大学 教授	
加藤 史訓	国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 海岸研究室長	
鮫島 和範	国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 沿岸防災研究室長	

2. 内容

- (1) 第1回技術部会の開催主旨について
- (2) 第2回準備会及び第1回検討委員会における質問・意見について
- (3) 報告内容及び技術課題
 - ・ 国による海面抵抗係数に関する事務連絡に応じた再検討結果の報告
 - ・ 河川遡上及び河川氾濫シミュレーションのモデル化及び結果の報告（県管理河川流域）
 - ・ 最大規模以外の外力による高潮浸水想定区域図作成方針
- (4) 次回の検討内容

3. 主な意見

委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・ 気象庁の高潮警報が発令される水位との関係を確認しながら、今回の高潮特別警戒水位の運用についての検討を進めていただきたい。
- ・ 基準水位観測所を選定する際には、氾濫開始箇所の水位と水位観測所の水位の相関のみではなく、地形特性を考慮した上で最適な観測所を選定するのが良い。
- ・ 河川における気圧・風の影響について、代表1河川のみの検討結果で判断せず、他の河川についても簡易的な方法を用いて確認するべきである。



全景



全景



質疑応答 (1)



委員質疑 (2)